

A班 グループ発表 板書

「参加と協働のためのルールづくり」
は私たち討議会を基本に行う

討議会を中心に
補充も必要(内容
によっては)

前提として、
フォーマル、インフォーマルな

行政、市民活動団
体、区が活動や相談
できる組織(窓口)
が必要

社会資源を把握している **組織・機関**

(情報提供・相談にのる)

市のイベント、市民団体の活動内容
区の活動、区民の活動

共有事項

まちづくり参加
市と団体や
行事の窓口

ハロウィン、ハザ
ーなど
行事の情報
子ども、市民

行事、イベントの
運営

市民活動の情報
(集める
コーディネート)

子どものため

団体の性格
活動実態

英語の地図を作ったが、も
っと広い立場で作れるよ
うな形がほしい
(世界青少年交流協会)

子どもと自治の係
わりについて明ら
かに

区の位置づけ
どうするか →

区の在り方の方
向づけ、それに向
かって努力する
事が大切

区の性格づけ

区、団体、行政の
連携強化の(相
談、情報提供、各
団体の連携)組織
が必要

B班 グループ発表 板書

情報の共有化（各市民活動団体⇔区）



場所—新しい図書館、ボランティアセンター(名前を変える?)

情報を集めて図書館で発信

} サポートセンター

行政が発信、サポートの役割を果たしてほしい

行政側が受け皿、部所をつくる

まちづくりや、区の活動について相談する

窓口があるといい

C班 グループ発表 板書

「枠組み」

討議会だけではまとめきれない

事務局提案

市民各層（特に若年層）

→まとめ役の育成（コーディネーター）

市（企画）の組織の体制強化

実際に活動している人達の意見を

市民活動団体と区

市と区、団体

継続 — ボラセンの強化

地区担当者の活用

区の仕組みの標準化

